

< 芸術 >科 学習シラバス

科 目		音楽Ⅱ	学年・類型	2年生・Ⅰ型	単位数	2単位	教科書	MOUSA 2（教育芸術社）		
学習の到達目標			・歌唱や器楽、創作の表現活動を通して、発展的な技能を身につけるとともに、表現する楽しさを味わう。 ・楽譜についての知識を身につけ、読譜能力、記譜能力の向上を図る。 ・鑑賞の活動を通して、楽曲のよさや美しさを文章にして表現したり、批評したりする能力を身につける。							
評価の観点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	曲想と音楽の構造や歌詞、奏法、文化的・歴史的背景等との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい技能を身につけ、歌唱や器楽で表している。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、表現意図をもったり、自ら味わって聴いたりしている。			曲想と音楽の構造や歌詞、奏法、文化的・歴史的背景等との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			
評価の方法	・学習活動での表現内容 ・筆記テスト ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート			・学習活動での表現内容 ・筆記テスト ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート			・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ワークシート ・レポート			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
1学期	4	曲想を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう ○Alleluja ○糸 ○Funiculi-Funiculă		発声練習に適した曲や親しみやすい曲、歌いやすい曲を通して、発声などの技能を身に付けながら、表現を工夫して個性豊かに歌うとともに、主体的・協働的に学習に取り組む意欲を高める。				○		○
	5	リズムによってアンサンブルをしよう ○ソルフェージュ（リズム） ○PreludeⅢ ○シンコペーテッド・クロック		ボディー・パーカッションやキーボードなどによるアンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。				○	○	
	6									
	7	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう ○《プエノスアイレスの冬》 ○《四季》から《冬》		さまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探るとともに、音楽のよさや美しさを深く味わう。				○	○	
2学期	8・9	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう ○浜辺の歌/からたちの花 ○Nel cor più non mi sento ○Je te veux 変奏や編曲に挑戦しよう		さまざまな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して独唱する。				○		○
	10	ポップスの特徴を理解して歌おう ○SUN ○歩いて帰ろう ○ハナミズキ ○Can't Take My Eyes Off Of You		身近な曲の旋律をもとに、音楽を形づくっている要素の働きを変えることで、曲のもつ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする。				○		○
	11	表現を工夫してギターを演奏しよう ○天体観測 ○愛のロマンス ○Happy Birthday to You		ギターの音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。				○	○	
	12	世界の諸民族の音楽を知ろう ○鑑賞：「世界の諸民族の音楽」 ○器楽：ラ・クンパルシータ		世界の諸民族の音楽を、身振りを伴う表現に着目して鑑賞したり演奏したりしながら、その音楽や表現の特徴を理解する。				○	○	
3学期	1	ミュージカル・ナンバーを歌おう ○The Phantom of the Opera ○All I Ask of You ○ミュージカル《オペラ座の怪人》		物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う。					○	○
	2	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう ○涙そうそう ○《一段》		和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。				○		○
	3	作曲家の生涯と作品をたどろう ○「クローズ・アップ・マエストロ」 L.v. ベートーヴェン		L.v. ベートーヴェンの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう。				○		○
学習のポイント		・楽典の知識をしっかりと身に付け、読譜力、記譜力を鍛える。 ・ワークシートや創作課題、レポートを確実に仕上げる。 ・表現活動の際は積極的に活動し、技能を身に付けるだけでなく創意工夫を生かした表現を心掛ける。								